南吉で
つながる
ひろがる
まちづくり

南吉まちづくり指針

平成２６年３月　安城市

もくじ

「南吉まちづくり」とは？ 1

「南吉まちづくり」５つのキーワード 2

「まなび」のヒント 3

「あそび」のヒント 5

「くらし」のヒント 7

「まちなみ」のヒント 9

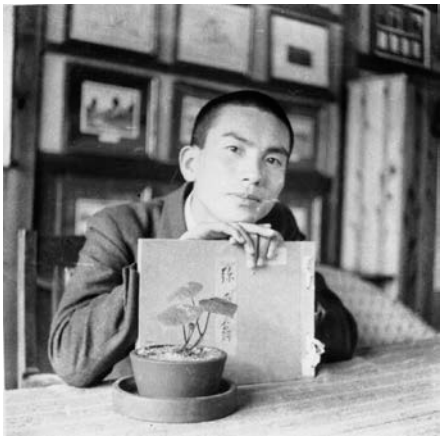
「おもてなし」のヒント 11

「南吉まちづくり」とは？

「まちづくり」とは、「もっと幸せに暮らせるまち」にするためのあらゆる活動のこと。
安城市ゆかりの童話作家・新美南吉の生き方や、作品に込めた想いなどを手掛かりに、安城のまちの魅力を磨き上げ発信していく取り組みが「南吉まちづくり」です。

この指針では、「南吉まちづくり」の自由な発想やちょっとした活動のきっかけとなるように、５つの「キーワード」と２０の「ヒント」を用意しました。
（このヒントたちは、みんなの参加により「追加」「上書き」されて「成長していくもの」です。）

安城と新美南吉



安城高等女学校にて撮影

『ごんぎつね』などで知られる童話作家・新美南吉は、昭和 13 年 4 月、24 歳の時に安城高等女学校に教師として赴任し、英語や国語などを担当。また、着任時に入学した第 19 回生の担任として、卒業までの 4 年間を受け持ちました。

昭和 14 年 4 月からは現在の安城市新田町で下宿を始め、昭和 16 年 10 月には初の単行本『良寛物語　手毬と鉢の子』が、昭和 17 年 10 月には初の童話集『おぢいさんのランプ』が出版され、幼い頃からの夢であった童話作家となりました。

南吉は 29 歳という若さで亡くなってしまいましたが、南吉が安城で過ごした 5 年間は、教員という社会的地位を得て経済的に安定し、さらに教え子や同僚たちとの交流から精神的にも充実していました。

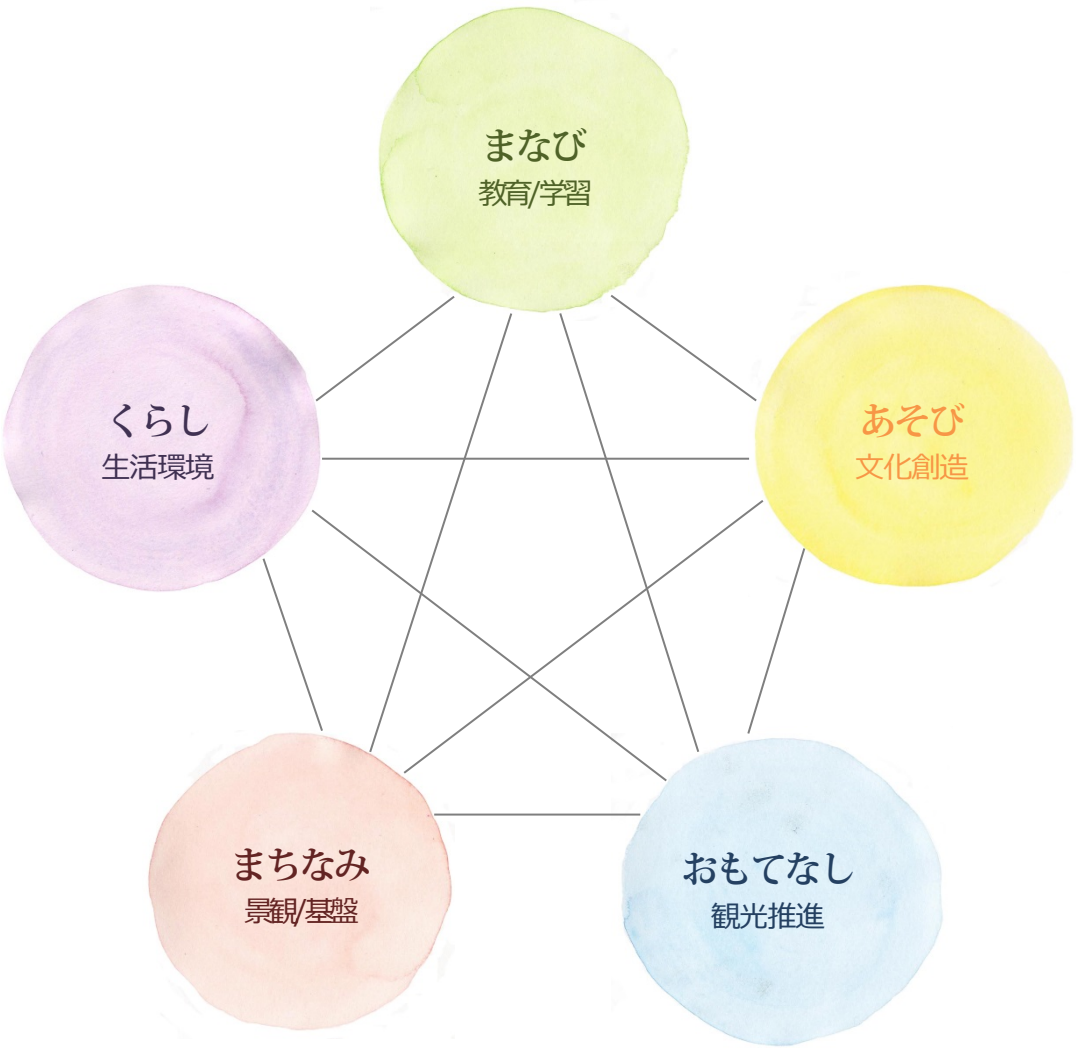
安城時代は、新美南吉が短い生涯の中で最も輝いた青春時代なのです。

「南吉まちづくり」５つのキーワード

やさしさ、悲しさ、あたたかさ、ユーモア、人間らしさ・・・南吉の世界は多様性にあふれています。

そんな南吉の世界を「鍵」にして、「南吉まちづくり」の自由な発想やちょっとした活動のきっかけとなるよう、５つのキーワードを用意しました。

これらのキーワードはそれぞれ単独で機能したり、複数が連携しながら機能したり、使い方はいろいろです。



「まなび」のヒント

南吉の作品や生き方から「伝えたかったもの」「残したかったもの」を感じ取ることからスタート！
子どもも大人も、たがいに学び合うことで「美しいものを愛する心」や「夢をかなえ未来を拓く力」をはぐくみたい。
それが「まなびのまちづくり」です。

ヒント01　南吉塾～読書・勉強会～

南吉が作品や生き方を通して伝えたかったこととは？南吉まちづくりの第一歩は南吉を知ることから。南吉作品を読んだり、南吉の人となりを知って、自分なりの南吉の魅力を感じてみて。

たとえばこんなこと

●南吉朗読会
南吉作品に興味はあるけど、自分で読むのはちょっと･･･という人は、朗読会に参加してみては？

●南吉塾いろいろ
南吉作品やその生涯について学ぶ講座を公民館や下宿先などいろんな場所でいろんな団体が開催。

南吉の下宿先での朗読会

ヒント02　みんなの夢応援

南吉は安城で童話作家になる夢をかなえました。夢はいつでも持てるものです。夢を持つことの素晴らしさ、努力することの大切さを伝えて、みんなの夢を応援していきたいですね。

たとえばこんなこと

●安城で夢を叫ぶ
大きな声で夢を叫ぶと、みんなが応援してくれるイベントを開催。

●夢を描くきっかけづくり
南吉読書感想文コンクールや創作童話コンクールなど、新しい才能を発掘するイベントを開催。

短冊で世界記録に挑戦

ヒント03　南吉ゆかりの地探訪

安城には、南吉の下宿先や、南吉行きつけのお店、南吉顕彰碑など、ゆかりの地が多数あります。訪れてみれば南吉がもっと身近に感じられるようになりますよ。

たとえばこんなこと

●「南吉めぐり」まち歩きイベント

市内の南吉ゆかりの地を訪ねるまち歩きイベントや講座を企画。七夕まつりやホコ天きーぼー市などとのコラボも。

ででむし詩碑

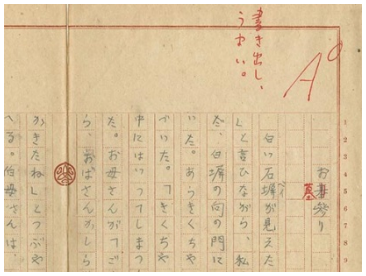
ヒント04　「今の自分」を日記や手紙に

日記や手紙はちょっと面倒。でも、数年後読み返したとき、当時の気持ちを思い出すことができます。少し照れてしまうかもしれないけど、デジタルでは感じられない何かがあるのでは？

たとえばこんなこと

●ことばの学校

日記や作文・読書感想文などの書き方を学べる「ことばの学校」を開校してみては？「安城で夢を叫ぶ」と連動した「夢実現日記」運動なども。



南吉が添削した生徒の作文

南吉豆知識 1

新美南吉は、ユーモアとペーソスに富んだ心あたたまる作品をたくさん残しました。なかでも安城にいた頃、『おぢいさんのランプ』や『花のき村と盗人たち』などの代表作を次々に発表しています。教師という安定した職業を得、同僚や女学生、まちの人たちとの交流を通して、南吉は充実した作家活動を行うことができました。

南吉作品には、童話や小説、詩や俳句など全部で 1,500 以上ありますが、その半分以上が安城時代に書かれたものです。

「あそび」のヒント

南吉は遊び心を大切にしたユーモアあふれる人。
南吉作品を使って、柔軟な発想を活かした楽しい「あそび」にチャレンジ！
一人でもグループでも、「自分の気持ちを素直に表現すること」を楽しんでもらいたい。
それが「あそびのまちづくり」です。

ヒント05　南吉創造

南吉の作品や登場キャラクターなどをモチーフに、さまざまな創作、あそびにチャレンジ。体操、キャラ弁、Ｔシャツなど可能性は無限大です。

たとえばこんなこと

●南吉創造ワークショップ

漫画や絵本、キャラ弁作りなど、多様なテーマで創造体験講座の開催。

●南吉 de あそび隊

南吉で遊んでみんなに親しみを持ってもらうための活動団体を結成。グッズ作成から講座の企画までみんなの創造力を引き出す牽引役に！

南吉たいそうハイ ハイ ハイ！

ヒント06　一人ひとりが芸術家

南吉は、女学校での詩や作文の授業で「ありのまま、自然体で」と指導していました。わたしたちも素直に自己表現してみませんか。音楽、ダンス、絵や文章など…まずは得意分野から。

たとえばこんなこと

●若手アーティストの育成

南吉作品を絵画にして、アートコンクールを開催したり、南吉の詩に曲をつけて、コンサートを開催したり、若手アーティストを育ててみると、安城から世界デビューが？！

第 21 回教育展での南吉作品

ヒント07　まちのなかに南吉あれこれ

南吉童話を数冊並べて「ちいさな南吉図書館」。南吉作品に出てくるキツネやでんでんむしのオブジェをまちなかに置いて「南吉ギャラリー」。まちのあちこちにいろんな「南吉」があったら楽しいかも。

たとえばこんなこと

●動物たちのかくれんぼ「南吉ギャラリー」

南吉作品に登場する動物のオブジェを庭先やお店の入り口などに。

●私の南吉図書館

自分のお気に入りの南吉童話を並べてみるとか、南吉の安城時代の作品にこだわって絵本を並べてみるとか。

商店街街路灯のでんでんむし

ヒント08　南吉ビジネスチャンス

南吉を使ったあそび心をもう一段上げると、ビジネスチャンスや起業につながるかも。新しいセンスで新しい南吉ビジネスの展開を。

たとえばこんなこと

●南吉グッズの開発

南吉商品を開発。食べ物、飲み物、Ｔシャツ、おみくじ、キーホルダー、文房具など、活用領域は無限大！

●南吉ビジネスセミナー

商工会議所やまちづくり会社などと連携しながら南吉を活用した商品やサービスを考えるセミナーの開催。

南吉ウォールペイント
ポストカード

南吉豆知識 2

南吉作品といえば、童話『ごんぎつね』のように悲哀に満ちたお話を思い浮かべるのではないでしょうか。でも、実は童話『がちょうのたんじょうび』のように動物たちを擬人化してユーモアたっぷりの会話をするクスッと笑ってしまう作品もたくさん書いています。

安城高等女学校に赴任したときの入学式で「新美正八です。尺八ではありません。」と自己紹介するなど、意外にお茶目な一面もありました。

「くらし」のヒント

南吉は、さんぽで見つけた身近な生きものや、友人や教え子、地域の人たちとのふれあいから創作のヒントを得ていました。
日々のくらしの中に「季節の移り変わり」や「人のやさしさ」を感じたい。
それが「くらしのまちづくり」です。

ヒント09　南吉ガーデニング

花や植物にふれると癒されますよね。南吉が好きだった「プリムラ」の花や、南吉作品に出てくる植物を家の中やお庭に取り入れてみては？

たとえばこんなこと

●南吉の愛した花いっぱい運動

南吉の日記や作品に登場する植物を自宅に植えてみる。南吉ガーデニング講座なども。

●南吉植物図鑑

南吉が安城で見た草花や樹木は、きっと今も安城のどこかに。見つけたら写真を撮って自分だけの南吉植物図鑑に。

プリムラの花

ヒント10　スローライフを楽しむ

田んぼや草むらにいる小さな生きものや、道ばたの草花にも南吉はやさしいまなざしを向けていました。安城には身近な自然が残っています。まずはのんびりさんぽに出かけて、わがまち・安城を楽しんでみませんか。

たとえばこんなこと

●草花をめでる

季節のうつろいに敏感になると、日々の暮らしを見つめ直すことができるかも。

●お試しスローライフ

童話『おぢいさんのランプ』に登場するようなランプを灯した生活をしてみるなど、ゆったりした暮らしを楽しんで。

キャンドルナイト

ヒント１１　親子や地域のふれあい

南吉作品にはハッピーエンドのものも悲しい結末のものもありますが、読んだあとには、人とのふれあいを感じるものがほとんど。やさしい気持ちで人と接し、誰もが安心して暮らせるまちに。

たとえばこんなこと

●親子ふれあい講座

南吉作品に登場する動物や植物にふれる講座や地域のお散歩企画など、親子で楽しめる講座の開催。

安城版ブックスタート

ヒント１２　地産地消・食育

南吉が物語を書こうとしていた都築弥厚は、安城を流れる農業用水、明治用水の考案者。その恵みを受け、安城は農業先進地になりました。安城の「食」を大事にし、郷土愛を育みたいですね。

たとえばこんなこと

●南吉食育

農業が盛んな安城ならではの地産地消のしくみや、南吉が好きだった食べ物の再現・献立の開発など。

●南吉市場

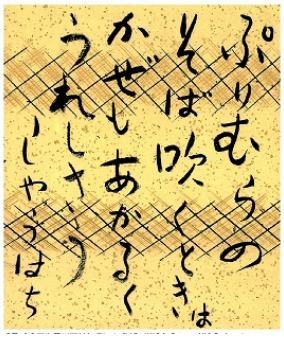
農協などと連携し、地域の農産物などが並ぶ「南吉市場」を開催。

学校給食の南吉メニュー

南吉豆知識 3

南吉は、庶民の暮らしを主観的に描き、故郷の権現山や矢勝川などの風景や半田の方言を活かした郷土色豊かな作品をたくさん残しました。

また、でんでんむしやきつねなどの小さな生きものだけでなく、身近な草花にも温かいまなざしを向けていました。好きだったプリムラの花の詩を教え子にプレゼントしたこともあります。



「まちなみ」のヒント

南吉が通勤路として歩いて通ったまちなかは、南吉作品にも登場します。
まちを歩いてみると、南吉先生に会えるような、南吉作品の中にいるような…そんな風景や仕掛けをつくりたい。
それが「まちなみのまちづくり」です。

ヒント１３　南吉のあるまち

南吉が歩いたまちには、“南吉”を感じる風景を。南吉作品に登場する人や動物、花や木を活かして、訪れて楽しい、住んでうれしい、まちなみを。

たとえばこんなこと

●景観ガイドライン
南吉が歩いた場所を中心に、まちなみや建物の外観の基準を定める「景観ガイドライン」を作成。

●童話世界の風景化
中心市街地の各所に南吉ウォールペイントや南吉モニュメントなど童話世界を風景化するための仕掛けを展開。

南吉ウォールペイント

ヒント１４　くつろぎの空間

南吉作品から感じるほっとする素朴な時間。まちのあちこちにゆっくりできる場所、のんびり読書できる場所があるといいですよね。

たとえばこんなこと

●まちの木陰づくり
日差しを遮る木陰や腰かけられるスペースなど、ちょっとくつろげる小さなたまり場をまちの各所に。ベンチやパラソルなどを南吉デザインに！？

●空き家や空き店舗等の活用
まちなかにある空き家や空き店舗等を活用して、くつろぎ空間に整備。

ささやき広場

ヒント１５　四季のあるまち

訪れるたびに新しい顔を見せてくれるまち。南吉作品に登場する草花や樹木を使って、季節のうつろいを感じられると、一年中楽しめるまちになることでしょう。

たとえばこんなこと

●風景写真

「いいな」と思うまちなみをカメラに納めてみると、季節ごとに違った風景が。何度も訪れたくなるまちなみを目指して。

『ごんぎつね』に登場する彼岸花

ヒント１６　キツネの足跡をたどると…

まちのあちこちにある南吉スポットをみんなに分かりやすくつなげたら、まち歩きがもっと楽しくなるかも。昔ながらの看板や、最新の携帯アプリを使うのもアリですよね。

たとえばこんなこと

●回遊ルートの整備～標識サイン

南吉関連スポットを回遊するルートのバリアフリー化、路面の美装化。分かりやすい標識サインや案内板など。安全に楽しく歩けるまちに。

●新技術を活用した案内システム

携帯電話やスマートフォンなどを活用した南吉スポット紹介や安城オリジナルアプリなど新しい技術を活用した観光案内を導入。

キツネの足跡

南吉豆知識 4

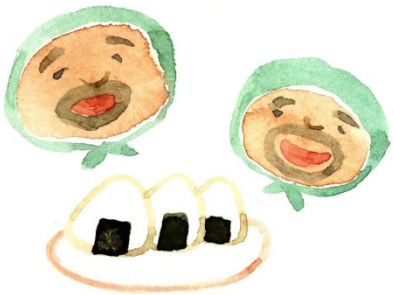
南吉は、現在のＪＲ安城駅前の商店街を歩いて安城高等女学校に通勤していました。まちなかでのできごとや、よく立ち寄ったお店の名前などが南吉の日記や作品に登場しています。区画整理事業などで、南吉がいた頃とはまちなみは変わりましたが、新田町の「南吉の下宿先」をはじめ、駅前商店街の日新堂書店や川本、吉野屋など南吉ゆかりの場所が今も多く残っています。

「おもてなし」のヒント

安城に住んでいる人はもちろん、訪れた人にも「南吉が青春を過ごしたまち 安城」を楽しんでもらいたい。

みんなでまちの魅力を磨き、発信することで、「また来たい」「ずっと住みたい」と思ってくれる人を増やしたい。

それが「おもてなしのまちづくり」です。



ヒント１７　南吉グルメ

南吉の好きだったスイーツや、南吉作品をイメージした料理など、「南吉グルメ」を考えてみませんか？あなたのアイデアがまちの名物になるかも？！

たとえばこんなこと

●南吉グルメ開発

南吉が好きだった食べ物や、南吉作品をイメージさせる料理など、商店街やまちづくり会社と連携して、安城ならではの「南吉グルメ」を。

南吉の青春かすてら（両口屋菓匠）

ヒント１８　まちの案内人

まちを訪れた人にとって、地元の人との語らいは、ここでしか得られない大切な宝物。あなたが語る安城のまちはどんなまちですか？聞いた人がみんなに話したくなるような安城の自慢話をどんどん話しちゃいましょう。

たとえばこんなこと

●まちの自慢探し

安城のまちのいいところ・魅力をみんなで再発見する講座の開催。

●我こそは南吉ＰＲ大使

南吉ウォールペイントを友だちに紹介してみる。安城の美味しいものを自慢してみる。ツイッターやフェイスブックなどのＳＮＳも使って、安城の魅力を拡散！

南吉ウォールペイント巡り

ヒント19　南吉語り部

南吉は安城のまちでこんな作品を書いたんだよ。南吉は安城でこんな先生だったんだよ。南吉はここのお店で買い物をしていたんだよ。安城で過ごした南吉のことを、もっとみんなに伝えてみよう。

たとえばこんなこと

●南吉語り部養成講座

南吉の生涯や南吉作品の魅力など、南吉のことを発信できる語り部の養成講座を開催。楽しく学んだ後には「南吉博士」の称号が？！

新田小学校の南吉新聞

ヒント20　もっと楽しみたい“安城の南吉”

訪れた人に「安城って楽しい！」と思ってもらえたら。南吉の楽しみ方は人それぞれですが、みんなで安城の南吉を楽しむことが、そのまま「まちの魅力」につながります。

たとえばこんなこと

●巡りたくなる仕掛けづくり

南吉ゆかりの地を巡るサイクリングイベントやスタンプラリーなどを実施。写真ラリー企画と連動させると、さらにまち歩きが楽しくなるかも。

●南吉観光圏

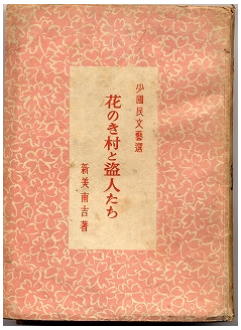
南吉の出身地半田市など南吉ゆかりの都市と手をつなぎ、南吉観光を推進。

南吉さんぽマップ

南吉豆知識 5

南吉の代表作のひとつに『花のき村と盗人たち』という童話があります。平和な花のき村にやってきた盗人のかしらが、人から信頼され、温かいもてなしを受けることで美しい心を取り戻すお話です。この村は南吉が作り出した架空の村ですが、名前のモデルは安城市花ノ木町であるといわれています。

花ノ木町にあるお地蔵さんが、『花のき村と盗人たち』に登場する「小さい地蔵さん」のモデルだとする説もあります。



新美南吉